



福祉茨木

第169号
平成24年4月1日発行
社会福祉法人
茨木市社会福祉協議会
茨木市駅前四丁目7-55
茨木市福祉文化会館内
電話072-627-0033

第19回

みんな集まれ!!

in いばらき

ボランティア

が開かれます



開催日時・場所

平成24年4月29日(日・祝)
午前10時30分～午後3時
茨木市役所前
中央公園北グラウンド

— 被災地へ思いをこめて —

大震災の出来事をしっかりと受け止めて、「離れていても何かできることはないか」という思いを持ち続けて欲しいと考え、イベント当日は、被災地仮設住宅で作成された商品の販売や、被災地支援バザーを予定しています。こちらも是非お立ち寄り下さい。



詳細はボランティアセンター

072-627-0089まで

今年で19回目となるこのイベントは、毎年、茨木市内のボランティア団体やNPO団体、福祉関係団体が集まり、参加する団体間のつながりを深めたり、市民の方々へボランティアや福祉活動の啓発を目的に開かれています。

各参加団体の協力のもと、すでに活動をされている方々はもちろん、活動未経験の方や、子どもでも楽しく気軽に参加できるように実施する、「ふれあいスタンプラリー」をはじめ、車いす、アイマスク、あるいは点字、手作りおもちゃといった趣向を凝らした体験や、バザー、食べ物の販売等も行なわれます。

その他、中央に設置したステージでは、市内で活躍するボランティアグループの楽器演奏や、様々な団体が披露する舞台演技など、今年も様々な催しを予定しております。

ご家族ご友人などお誘い合わせの上お越し下さい。たくさんのご来場をお待ちしています。

ボランティアに関心のある方、また「何か自分でも役立つことがあれば…」と考えている方には、当日の各コーナー運営のボランティアスタッフも同時に募集しております。

募集受付は4月20日(金)まで行っていますので、どうぞお気軽にお電話ください。



- 平成24年度事業計画(2面)
- 地区福祉委員会の活動(3面)
- ボランティアセンター(4面)
- 地域包括支援センター(5面)
- 障害福祉サービス・介護保険事業・いきいきネット事業(6面)
- 老人介護家族の会の活動支援・日常生活自立支援事業(7面)
- 各種相談・善意銀行(8面)



平成24年度 茨木市社会福祉協議会の事業計画

誰もが安心して住み続けられる福祉のまちを目指して

茨木市社会福祉協議会(略称：社協)の平成24年度の事業計画が決まりました。今年度も地域福祉推進のために、各関係機関・団体と連携し、福祉の中核を担う団体として、より一層充実した事業を展開してまいります。

ボランティアセンターの運営

→1ページ、4ページへ

地域包括支援センターの運営

→5ページへ

いきいきネット相談事業

→6ページへ

老人介護家族の会の活動支援

→7ページへ

心配ごと相談所の運営

→8ページへ

地区福祉委員会活動への支援

→3ページへ

介護保険事業

→6ページへ

障害福祉サービス事業

→6ページへ

日常生活自立支援事業

→7ページへ

善意銀行の運営

→8ページへ

社協では、いろいろな活動をしているんだね。各ページで事業の一部を紹介しています



リフト付自動車移送サービス事業

車椅子利用者で、外出困難な方への福祉車輛による移動支援を行っています。

車椅子・ベビーカー貸出事業

車椅子やベビーカーの貸出しを行っています。

子どもわいわいネットワーク茨木の活動支援

福祉教育事業

小中学校をはじめ地域へ出向き、車椅子の使い方など福祉に関する学びの場のお手伝いをしています。

茨木市地区共同募金会事務局

赤い羽根共同募金運動・歳末助け合い運動の事務局を担っています。

生活福祉資金貸付事業 他

平成24年度 一般会計予算

収入 合計 308,600千円

(単位:千円)

収 入	会費収入	21,680
	寄付金収入	600
	経常経費補助金収入	83,658
	受託金収入	55,423
	事業収入	1,020
	共同募金配分金収入	13,011
	介護保険・障害者自立支援収入	90,378
	雑収入	170
	受取利息配当金収入	12,100
	預託金収入	912
	積立預金取崩収入	14,072
	繰越金	15,576
	合 計	308,600

支出 合計 308,600千円

(単位:千円)

支 出	法人運営事業	60,770
	地区福祉委員会活動推進事業	37,300
	小地域ネットワーク活動推進事業	13,500
	ボランティア活動推進事業	6,300
	善意銀行事業	1,700
	府社協受託事業	32,700
	市受託事業	6,100
	共同募金配分金事業	15,000
	介護保険・障害者自立支援事業	89,300
	地域包括支援センター運営事業	39,301
	基金運営事業	2,600
	退職金積立事業	4,029
合 計	308,600	

地区福祉委員会の活動

地域福祉の推進を担う住民組織である地区福祉委員会の活動を支援しています。



住民のみなさんの賛助会員(会費)としての協力が、地区の活動資源になっています。

地区福祉委員会とは・・・

支援を必要とされる方々が、地域の中で孤立することなく生活が送れるよう、「安心して住み続けられる福祉のまちづくり」を進めるために活動する、住民組織です。

市内33地区にあり、地域の実状に応じた、様々な活動を実施しています。

福祉委員会の主な活動

子育てサロン、いきいきサロン、会食・配食サービス
世代間交流事業、敬老会、見守り訪問、広報紙編集発行 他



茨木地区からの発信

茨木地区福祉委員会では、年10回の高齢者給食会及びいきいきサロン事業を中心に、敬老会をはじめ多くの行事を各団体や専門機関と協同し開催しています。

特に昨年11月には、高齢者の集い企画ということで、今年の干支である『辰』をあしらったカレンダー作りと、燕下体操や血圧測定を社協と連携し開催したところ、さらに多くの皆さんに参加していただきました。

他には念願であった広報誌『みどりの散歩道』を創刊し、今後はこの広報誌をツールに加え、積極的に地域のコミュニティ活動を推進し情報発信をしていきたいと思っています。

また福祉委員の意識高揚を目的に、防災について学ぶため奈良防災センターで研修も受けました。この貴重な体験がそれぞれの地域活動を通して活かされることを願っています。



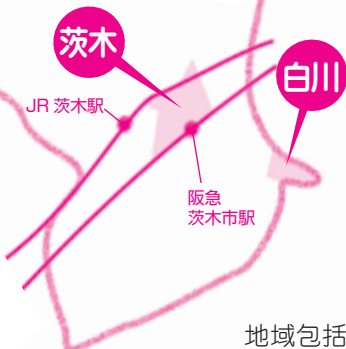
福祉委員会の活動の一部を紹介させていただきます。



地域の活動レポート

「地域の方々の集いの場があればなぁ」という住民さんの思いが形となったいきいきサロン。

白川地区福祉委員会では、年間10回(1、8月除く)、毎月第3水曜日午前10時から12時まで、白川小学校のプレイルームで開催しています。



ふれあいとコミュニケーションの場です



地域包括支援センターや各団体の協力を得て、血圧測定や健康についての助言などのあと、スタッフ全員で企画した催しを行っています。

昨年度はいろいろな催しを実施しましたが、学校給食の試食会が特に人気がありました。栄養士さんから献立についての説明があり、テーブル上には花が生けられ、参加者全員笑顔で溢れたそれは楽しいひとときでした。

その他にも押し花、ちぎり絵、色紙での作品作りなどを行い、これらの作品は地区の文化展へ出品しています。

そしてサロンの終わりには、テーマソングの「幸せワルツ」を全員で歌い、笑顔の解散です。

毎回こんなふうにしなごら、このサロンが地域のコミュニケーションの場として根付くよう心掛け実施しています。



ボランティアセンター

ボランティアに関するあらゆる相談に応じるほか、ボランティアの登録やボランティア活動の紹介を行っています。

ボランティア活動は地域福祉の推進のためにも、なくてはならないものだよね



交流会やグループについてのお問い合わせは
ボランティアセンターまで
☎ 072-627-0086

個人ボランティア交流会を実施しています

毎月第2月曜日（祝日の場合第2火曜日）午後1時から、社協会議室において、個人ボランティアの交流会を開催しています。

ボランティア活動を通してのつながりや、普段の活動を振り返り共有するために始まったこの交流会は、参加者皆でお茶を飲みながら、いつも和やかな雰囲気で開催しています。

参加者の中には、活動歴の長い方や活動を始めようと考えているボランティア同士はもちろん、時には施設

のボランティア受入担当者にも参加していただき、ボランティア活動をする側と受け入れる側が顔を合わせて、活動時の楽しかったエピソードや、普段なかなか言いにくい事、悩みなどを話し合います。

思いを共有することで、ボランティアの仲間づくりや活動の励みにしてもらえたらと、定期的に参加しています。

関心のある方は一度ボランティアセンターまでお問い合わせください。お待ちしております。



▲交流会にあわせ研修会を実施

ボランティアグループ紹介

手引きグループ「クローバー」



▲魚つりゲームでアイマスクの体験



▲アイマスクをしてのふれあい卓球

私たちと一緒に活動しませんか

視覚障がい者の外出介助を主な活動とする私たちの活動は、今年の3月で25周年を迎えました。

活動の内容は、大きく2種類に分かれ、一つは病院への通院、その他生活上での介助。もう一つはダンスやカラオケ、その他の文化活動時のお手伝いです。

視覚障がいの方々とのふれあいや、一緒に活動することで、色々な学びや体験をさせてもらい、充実した

日々を送っております。

視覚障がい者を対象とした外出介助のボランティアグループは、近隣の市町村にもあまりないと聞きます。

今後もよりよい活動を目指していきたいと思っておりますので、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

また、新しいメンバーも募集していますので、関心のある方はボランティアセンターまでご連絡ください。

～ 東日本大震災から1年 ～

あの震災から1年が過ぎました。昨年の3月末から4月上旬にかけ、茨木市内でも救援物資の受付を実施する中、たくさんのボランティアによる協力や支援が集まりました。

また、昨年4月の“ボランティアの集い”茨木市社協の窓口での募金活動にも多くの義援金が集まり、みなさんの“何かできることはないか”という思いが、遠く

に離れていてもできるボランティア活動として発揮されたと思います。

被災地支援はこれからも続きます。社協ボランティアセンターとしても、被災地との架け橋になれるよう情報をみなさんにお届けしていくと共に、改めて見直されている人と人との“絆”を深めるために、ボランティアの啓発に取り組んでいきたいと考えております。



地域包括支援センター

地域で暮らす高齢のみなさんを、介護、福祉、健康、医療などさまざまな面から総合的に支える相談窓口です。

茨木市社会福祉協議会 地域包括支援センター

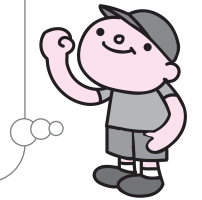
TEL : 072-627-0114

FAX : 072-627-0080

営業時間：月曜日～金曜日

午前8時45分～午後5時15分

(時間外や土・日・祝日は電話のみ対応。)



総合相談支援業務



お気軽にご相談ください!

高齢のみなさんやその家族、近隣に暮らす方々のさまざまな悩みや問題に対応します。

また、老人クラブや民生委員児童委員協議会などに定期的に参加させていただき、個別の相談をお受けしたり、さまざまな制度やサービス等の啓発活動を行っています。

◀老人クラブの集まりに参加

自立して生活できるよう支援します。



看護師

要支援1・2と認定された方の介護保険の利用を支援します。また、支援や介護が必要となる恐れの高い方や自立した生活をしている方などは、「運動機能向上」「口腔機能向上」「認知症予防」など、介護予防事業の紹介をしています。

介護予防ケアマネジメント業務



▲地域のサロン活動に参加

血圧測定や健康相談も
お受けしています!

権利擁護業務



▲来所相談の様子

みなさんの権利を守ります。

高齢のみなさんが、安心していきいきと暮らすために、みなさんの持つさまざまな権利を守ります。

成年後見制度の紹介や、虐待を早期に発見し介入したり、消費者被害などに対応します。



社会福祉士

さまざまな方面からみなさんを支えます。



主任ケアマネジャー

みなさんを支える地域のケアマネジャーの指導や支援の他、高齢のみなさんにとってより暮らしやすい地域にするため、さまざまな機関とのネットワーク作りに努めています。

ケアマネジャー交流会の様子▶

包括的・継続的ケアマネジメント業務



茨木市内の 地域包括支援センター

お困りごとがありましたら、担当の地域包括支援センターまでご相談下さい。

地域包括支援センターは、小学校区によって6ヶ所に分かれています(担当地域は、以下の通りです)。

施設名	所在地	電話番号	担当小学校地区
① 茨木市社会福祉協議会 地域包括支援センター	茨木市駅前四丁目7番55号	072-627-0114	中条、茨木、大池、中津、清溪、忍頂寺
② 茨木市地域包括支援センター 天 兆 園	茨木市安威二丁目10番11号	072-640-3960	安威、山手台、耳原、福井
③ 茨木市地域包括支援センター 常清の里	茨木市清水一丁目28番22号	072-641-3164	豊川、郡山、彩都西
④ 茨木市地域包括支援センター エルダー	茨木市庄二丁目7番38号	072-631-5200	三島、太田、庄栄、西河原、東、白川
⑤ 茨木市地域包括支援センター 春日丘荘	茨木市南春日丘七丁目11番48号	072-625-6575	郡、沢池、西、穂積、畑田、春日、春日丘
⑥ 茨木市地域包括支援センター 葦 原	茨木市沢良宜東町14番31号	072-636-8000	玉島、玉櫛、天王、東奈良、葦原、水尾

障害福祉サービス

障がいをお持ちの方にホームヘルパーやガイドヘルパーの派遣を行っています。



同行援護の様子

障がいのある方の
移動や生活の支援を
しているんだね



同行援護

重度の視覚障がいの方で、外出時に必要な代筆や代読、食事、排せつ介助など、支援を行います。

移動支援

重度の障がいがあり、屋外での移動が困難な方に、外出のための支援を行います。

※その他、自宅での食事、入浴、排せつ介助等の、「居宅介護」や「重度訪問介護」も行っています。

いきいきネット事業

地域の身近な相談窓口です。子育てから介護に関することまで、様々な相談に応じます。

社協にはさまざまな
専門職が活躍
しているんだね



介護保険事業

ホームヘルパーの派遣やケアプラン作成を行っています。

社会福祉協議会では、介護保険制度に基づき、以下のサービスを行っています。

1. 訪問介護（介護予防）は、ホームヘルパーが家庭を訪問して、日常生活上の支援を行います。

訪問介護の主な内容

- ①身体介護
食事、入浴、排せつ、衣服着脱等の介助、通院や施設への送迎の介助など
- ②生活援助
調理、洗濯、掃除、日用品の買い物、関係機関への連絡など
- ③相談・助言
生活や身の上相談、それに対する助言など

2. ケアプランの作成

利用者1人ひとりの要支援・介護状態に適したサービス計画を作成します。



老人介護家族の会の活動支援

介護に関する情報交換など、様々な形で当事者同士で支えあっている介護者の支援組織です。

介護で悩んだりストレスを感じている人も、共有すればほっとするよね



「茨木市老人介護家族の会」は昭和61年に発足し、昨年で25周年を迎えました。

月1回行われる「つどい」には、会員の方はもちろん介護に関わる関係者も集まり、日頃の悩みや思い、時には愚痴も言い合いながら交流を深めています。

また、この「つどい」は、介護をするうえで、情報交換として必要な場にもなっています。

介護等で忙しく、「つどい」に参加できない会員の方のためには、同じ会員による友愛電話訪問を行うなど、忙しい会員の方々への配慮もされています。

年1回行われるリフレッシュ事業では、会員同士での“ゆっくり楽しい”日帰り旅行が企画されています。今年度は「天王寺動物園」に出かけ、みなさんもしばらくの間は童心に戻って、リフレッシュされてきました。

※あなたも「茨木市老人介護家族の会」に入りませんか。

お問い合わせは 事務局：茨木市社会福祉協議会

(072) 627-0033 (大藪まで)



日常生活自立支援事業

判断能力が不十分な方が、安心して日常生活を送れるように支援します。

高齢の方や障がいのある方々の支援も、いろいろな角度から支援しているんだね



判断能力が不十分な方（認知症高齢者、知的障がい者、精神障がい者など）が、安心して日常生活を送れるように、福祉サービスを利用する際の様々な手続きや、金銭管理などの支援をします。

●福祉サービスの利用援助

- ・ 様々な福祉サービスの利用に関する情報の提供、相談
- ・ 福祉サービスの利用における申し込み、契約の代行、代理

●日常の金銭管理

- ・ 福祉サービス、医療費、公共料金等の支払の代行、手続き
- ・ 日用品購入の代金支払いの手続き
- ・ 預金の出し入れ、また預金の新規契約や解約の手続き

●書類の手続き

- ・ 役所等への書類の手続き
- ・ 商品購入に関する簡易な苦情処理制度の利用手続き

●通帳や証書などの預かり

- ・ 大切な通帳や証書等（年金証書、貯金通帳、実印など）の預かり

相談は無料、サービスは有料です。

相談や支援計画の作成にかかる費用は無料です。福祉サービス利用手続きなどを利用する際は料金がかかります。

詳しくは、社会福祉協議会へご連絡下さい。

サービス料金表 ※所得によりかわります

相談	無料
年会費	3,000~6,000円
事業利用料	200~500円 (一回につき)

専門的な知識を持った専門員がご自宅等を訪問し、ご相談に応じます。ご相談にあたってはプライバシーに配慮し、秘密は必ず守ります。

善意銀行

金品や物品の預託を受け、福祉に役立てる、住民同士の支え合いの活動です。

善意銀行報告(169)

●平成23年11月～平成24年1月分

善意の預託ありがとうございました

		(敬称略)	単位:円
11.7	ボランティアこすも		20,000
11.16	朝鳳連合会		8,221
11.24	東奈良地区福祉委員会		628
11.25	カフェふいせいと 他2回	計	9,000
11.28	庄栄コミュニティはがき絵教室有志一同		15,000
11.28	山下まり子 他2回	計	15,000
11.30	加藤澄子 他1回	計	2,000
	※11月匿名 5人	計	38,407
12.7	岡田美佐子		10,000
12.8	神戸製鋼所労働組合溶接支部		19,646
12.9	関電労組能開支部		20,436
12.9	茨木モロロジー事務所		10,000
12.13	橋本		30,000
12.15	伊藤俊子		5,000
12.21	茨木から日本を元気にする会		100,000
12.26	酒井美幸		5,000
	※12月匿名 2人	計	112,306
1.10	手話 どくだみの会一同		4,440
1.10	吉川砥油(株)		30,000
	※1月匿名 1人		226

【福祉基金】

11.21	匿名	200,000
12.15	山崎 聡子	100,000

【物品預託】

11.11	茨木市老連女性部会	介護ナフキン
12.9	植田光世	ランドセル
12.15	大月一代	車椅子
12.16	明るい社会づくり運動北摂協議会北支部	雑巾、ブルタブ
12.20	帝燃産業(株)	車椅子3台
	住友生命保険相互会茨木支社	
	住友生命労働組合茨木支部	タオル、ティッシュ小箱
12.22	(株)宿久	アイスケーキ120箱
12.27	下田裕子	文具
1.6	イオン茨木ショッピングセンター	日用品

【その他、匿名の物品預託】

ポータブルトイレ、シャワーチェア、シルバーカー、介護用品、日用品

～使用済み切手・カード、ブルタブ・ベルマーク・インクカートリッジ・ペットボトル キャップ・カセットテープ～
たくさんのご協力ありがとうございました

東奈良高層住宅A・B棟、茨木市断酒会、近藤龍平、藤原(美)、米山立子、「すみれ-24」の会、松尾日章、秀幸福祉会、府立大冠高等学校社会福祉部、松田知恵、茨木市シルバー人材センター、山田麻几子、横山利恵、生原幹夫、石黒英巳、湯口茂、かわた鍼灸院、ダスキン沢良直、住友生命、龍太郎、虎次郎、捷馬、(株)鈴木商館、水野智香子、平田益二郎、西田ひとみ、NPO法人フイティ・フイティ、尾内敏夫、石橋勝吉、東雅子、りそな銀行茨木支店、藍野福祉会、小林和子、さくらんぼこども園、老人福祉センター南茨木荘、蒲田孝子、関電労組能開支部、杉田洋子、豊武美智子、カリック茨木教会、井上一博、滝野徹依子、日野麻代、日野麻美、松原恵美子、岩本要、東奈良高層住宅自治会、見付山相生老人クラブ、齋藤秀美、竹村久子、酒井美幸、MUビジネスサービス(株)・いぶき野ボールパークス、東宮町有志、アルインコ(株)、長谷川葉子、牧坂紗也子、キャタピラーウエストジャパン労働組合、宇都山医院、仲川千恵子、高谷克子、秀和自治会、黒川香代子、ひだまり、渡邊靖子、いばらきサロン、小玉静、松田公子、安藤幸江、新郡山地区福祉委員会、三浦整骨院、すずか電気、すどう米穀店、須藤洋子、堤義行、まこと食堂、他匿名の皆さん

編集後記

東日本大震災から1年。海外では「日本人が一致団結し復興に努力している姿に敬意を表する。」と報道されており、私達の行動が問われています。当協議会も、新たな事業計画のスタートとなります。さまざまな事業を通して、絆を大切に、地域で「知恵のわプラン」を広げていくことが課題となっています。

各種相談

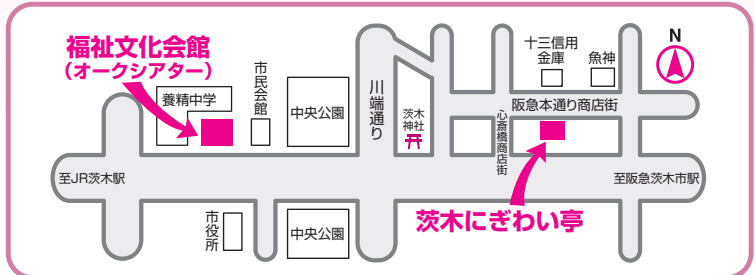
子育てから介護のこと、その他日常的なお困りのことについて相談を受け付けています。

社会福祉協議会では、別表のとおり相談会を行っています。相談料、予約ともに不要です。

内容	相談日	受付時間	場所
心配ごと相談	毎週火・木曜日	午後1時30分～3時45分	福祉文化会館1階相談室2
「老人介護家族の会」による介護電話相談	毎週火・木曜日	午後1時30分～3時	TEL 627-0033 ※来所相談は福祉文化会館1階相談室1
福祉相談会(CSW、地域包括支援センターによる、子育てから介護まで、福祉に関する情報提供・相談)	毎月第2木曜日	午後2時～4時	茨木にぎわい亭

心配ごと相談からのお知らせ

平成24年3月31日をもちまして日曜日の心配ごと相談は終了いたしました。平成24年4月1日からは、火・木曜日のみを相談日とさせていただきます。



★上記相談会や、日常的にお困りごとのあの方は、いつでもお問い合わせ下さい。

問い合わせ

茨木市社会福祉協議会
地域包括支援センター

TEL 627-0033
TEL 627-0114

地区「わ」の「わ」『知恵のわ』プラン』策定にむけて!!

昨年23年度からの三島地区を皮切りに、第1弾スタートの沢池、新郡山、水尾、西の各地区において、地区ごとの『茨木ふくし』『知恵のわ』プラン』の策定に向け、動き始めています。23年度中に各地区において、懇談会や各種調査等を重ね、自分達の地域の課題等をもう一度見つめ直し、その課題に対して「みんなでどういった事ができるか。また、地区福祉委員会を中心とした地域活動にどう結びつけていくか。」そういった地域の想いや取り組みを計画的に進めるために、地区ごとの『地区』『わ』『知恵のわ』プラン』：福祉行動計画』策定を行います。地域によって抱える課題も違ふし、持っている資源や人材も様々です。

そんな中、自分達の地域を想う皆さんと知恵を出し合いながら、地域の実情に応じた独自の計画作りと、それによって地域福祉活動の新規開発、或いは再編成等を進めていきます。そして下半期からは、第2弾のスタートの地区を選定し、25年度から地区の計画策定に向かえるよう準備を始めますので、その節には皆さまにも更なるご協力をいただきますようよろしくお願い申し上げます。